



東京都教育相談センターだより

東京都教育相談センター
Vol.37 平成20年10月15日
東京都文京区本郷1-3-3
電話 03-5800-8545
FAX 03-5800-8402

気がかりな子供たち その5

「気がかりな子供たち」は全5回の予定でしたが、9月より、児童・生徒に関する重大な事件・事故があったことから全6回の特集とします。

こだわりを示す子供たち

今回は、こだわりを示す子供たちにどのようにかかわっていけばよいかを考えます。この子供たちは、興味・関心や生活のパターンにその子供なりのこだわりがあり、対人関係が不器用で、しつこくし過ぎたり、パニックを起こして自傷や他害に及んだりすることがあります。



学校で見られる様子は？



ルールを守ろうとする気持ちが強いあまり、友達への注意がいきすぎることがあります。友人関係がうまく作れず、表面的な付き合い方になり、やや孤立している印象があります。電車や時刻表、地図や歴史などに強い興味を示すなど、特定の知識が豊富です。自分の興味のある事柄については、相手がさほど興味を示さなくても、執拗に話しかけ辟易とさせることがあります。完全癖で融通がきかず、頑張りすぎて疲れきってしまったり、友人とのトラブルで感情の起伏が激しくなったりして、突然欠席することがあります。自分のイメージに固執した友人関係や異性関係を求め、執拗に追いかけてたりします。自分を受け入れてもらえないと感じると、自傷や他害に走るすることがあります。



子供の特徴は？



独特の音、形、味等の感覚をもつことがあり、発達障害が疑われる場合があります。興味・関心の幅が狭い傾向があります。行動がパターン化しやすく、きまじめな反面、柔軟に対応することが苦手です。会話のニュアンスや場の雰囲気を読めず、相手に対し不適切な言動をしてしまうことがあります。幼い時からいじめられたり叱られたりすることが多い子供もおり、思春期になる頃には強い被害者意識やコンプレックスを抱くようになり、自信のなさの裏返しとして高いプライドを持ちすぎ、現実とのギャップに苦しんだりしていることもあります。

かかわりのポイント



1 本人の特徴に気がきましょう

表面的な行動だけを見て、理解しがたい子供、友達になじめない子供と決め付けず、不自然な行動をとらないといられない本人なりの感じ方や考え方があるのかもしれないと理解しましょう。彼らは違和感や苦痛を感じながら集団生活を送っていることも多いのです。

2 じっくり話を聴いて信頼関係を作りましょう

話がくどくなりがちで、考えを柔軟に変えることが不得手の傾向があります。このような子供たちと話し合うには粘り強く付き合うことが求められますが、じっくりと本人の話を聴くことで信頼関係は築かれます。その信頼関係に立って、安全な行動や人との付き合い方等についてのルールと一緒に決めていきましょう。

3 周囲の人が共通理解をするとともに、人とのかかわり方を具体的に示しましょう。

感覚の鋭さや顕著な能力、特定のことに熱心に徹底して取り組むこと等の特徴をつかみ、その個性を周囲の人たちが理解し、長所を生かすような環境作りをしましょう。また、対人関係については、思いこみがエスカレートしないように、その都度、人とのかかわり方について本人に具体的に助言して、トラブルにならないようにします。

専門家アドバイザースタッフ活動報告会

平成20年10月8日(水) 専門家アドバイザースタッフの活動報告会を開催しました。

専門家アドバイザースタッフ(以下、専門家ASとします。)が相互に情報共有を行い、また、当センターから都立学校を中心とした学校状況の情報提供を行いました。専門家ASからは、学校訪問時の児童・生徒との面談の様子について協議を行いました。以下は、報告の内容をまとめたものです。

校内の教育相談の充実

- ・教員からの「生徒についての相談」をすすめ、日々の指導につながる助言ができた。
- ・相談日や相談活動の案内を全校生徒に配布してもらい、生徒だけでなく保護者にも教育相談活動への理解が深まった。
- ・担当者がコーディネートをすすめ、保護者とも面接をすることができた。
- ・校内の教育相談の連絡会に参加し、生徒理解がより深まった。

専門家ASから見た円滑な相談活動を行うことができた学校体制の事例

- ・学校が相談活動の目標を立て、自主的に相談の内容や相談回数の充実を図っている。
- ・養護教諭や教育相談担当者等が、相談予定、相談の内容等の調整を行い、自主的に相談活動のコーディネートを行ったことで相談の内容が充実した。
- ・専門家ASを全教員に紹介する等、学校の受け入れ体制が組織的に構築され、相談活動を円滑に進めることができた。
- ・校内の協力体制のもと、担当者が相談の予約表を整え、専門家ASへ事前に知らせることができるようになった。
- ・希死念慮等の校内研修会を行い、教員の教育相談活動へのスキルアップを図った。

都立学校向け教育相談にかかわる教員連絡会

シンポジウム「思春期の心理と心のサイン」のお知らせ

子供たちの心に関する様々な課題の解決に向け、都立学校向け教育相談にかかわる教員連絡会シンポジウム「思春期の心理と心のサイン」を行います。内容は、「校内における教育相談体制の充実と担当者の役割」「気がかりな子供たちの現状について」とシンポジウム「思春期の心理と心のサイン」についてパネルディスカッションを行います。多くの参加をお待ちしております。

日時 平成20年11月11日(火) 9:30~12:00

場所 東京都教職員研修センター 視聴覚ホール

対象 都立学校の教育相談にかかわる教員

(養護教諭、生活指導担当者、教育相談担当等)